

# 平成24年度 第1回 一般社団法人 宮崎県介護支援専門員協会

## 日向・東臼杵ブロックネットワーク総会

記録者：小林 久美子

### 1. 開会のあいさつ

一般社団法人 宮崎県介護支援専門員協会 日向・東臼杵ブロックネットワーク委員長  
櫻井 俊司より

○介護支援専門員のネットワークの構築や相談が出来る体制と介護支援専門員のレベルアップが出来るような活動を行っていきたい。また、宮崎県介護支援専門員協会の総会では6月3日をもって役員の交代を行うようになっているが、日向・東臼杵ブロックネットワークでは4月をもって入れ替わることとする。

### 2. 総会出席者の紹介

○所属事業所名と名前を伝えて頂く。(出席者総数21名)

### 3. 新役員の紹介

○総会資料P1～P3を参照。

### 4. 報告事項

- ① 平成23年度 活動報告について  
総会資料P6を参照
- ② 平成23年度 決算報告について  
総会資料P7を参照

### 5. 協議事項

- ① 平成24年度 活動計画(案)について  
総会資料P9を参照。今年度の研修会は、日向・東臼杵ブロックネットワーク委員の思いを吸い上げた活動や研修会にしていきたいことを伝え、この後一緒に活動計画を検討して行きたいことを伝える。検討項目として  
(1) あなたが、ブロックネットワークに期待するもの  
(2) どのような研修会を行いたいか? この二つを中心に3グループに分け討議する。  
**グループ討議資料は、別紙(P2)参照。**  
グループで出された意見を役員で集約し検討することに総会参加者に同意を得る。

今後グループ討議で出されたものを各グループに配置された役員が、それぞれグループで出された思いをまとめ、研修企画案を作成し5月26日に行われる、役員会議に持ち寄り研修会内容を検討することになる。

# 平成24年度 第1回 一般社団法人 宮崎県介護支援専門員協会

## 日向・東臼杵ブロックネットワーク総会

### ② 平成24年度 収支予算（案）について

総会資料P8参照。

ブロックネットワーク会費はブロック単位の30000円に昨年の会員数116名×200円で計算している。講師に係る経費や旅費は、一般社団法人 宮崎県介護支援専門員協会の旅費規定や講師等謝金の規定に準ずるため、現在の所予測される収入と予測できる支出のみを案としている。

### ○平成24年度の活動計画（案）収支予算（案）も踏まえて、グループ討議。

櫻井委員長・甲斐副委員長 グループ

○収支予算では…

・講師等の打ち合わせに出向く場合は交通費は予算から支給しても良いのでは？（グループ参加者全員一致）

・文書発送については、県協会からの文書発送と時期があれば一緒に送付を依頼。

○ネットワークの体制整備では…

・ネットワーク構築のための雑談会

・本日参加している方が、会に入りたいと思うような会にする。

○研修会では…

・介護支援専門員が癒されるような研修やおしゃべり

・家族の声…家族が落ち着いて話ができるように方に話して頂くことでCMが元気になれる。

・先輩介護支援専門員からの話

・事業所（訪問介護）から介護支援専門員に対して…

藤田副委員長・米良役員・稲田役員 グループ

○介護保険施設に勤務する介護支援専門員のネットワーク構築がなされていない。業務で悩んだ際に、相談する仲間づくりをするために、会員名簿開示を希望する。

○介護保険施設に勤務する介護支援専門員と居宅介護支援事業所に勤務する介護支援専門員の意見交換会を開催してほしい。（個々の施設で対応が異なるので、連携に関する事例を発表をする。）

○介護保険法改正に伴う勉強会を開催してほしい。

# 平成24年度 第1回 一般社団法人 宮崎県介護支援専門員協会

## 日向・東臼杵ブロックネットワーク総会

小林委員 グループ

○ブロックネットワークに期待するもの

・お互いに委員さんがどこにいるか分からないので相談が出来にくい。名簿の開示はできないのだろうか？

・年1回の研修会だけでなく、本日の会のような集まり(交流会)を企画してほしい。少数人数で話が出るような環境で。困った時に頼れる関係づくりにもなる。

・加入していない介護支援専門員に勧めるが会費などの問題でなかなか入ってもらえない。年会費を事業所に出してもらえよう働きかけてみようと思う。

・介護支援専門員の仕事への理解が、上司や他職種・医師への理解が低い。介護支援専門員の仕事の理解をしてもらえるような働きかけはないか？

○研修会について

【メンタルヘルスの研修】

・ケアマネをしていると気持ちが落ちる時期がある。気持ちをコントロールする研修があるとよい。

・予算の関係もあるので、身近な所で講師の先生を探してはどうか？

・雲の上の話聞いても実感としてわきにくく、地域をわかっている方の方が理解しやすい

・協和病院の二宮先生はメンタルヘルスの研修を受けてくれないだろうか？

・瀧井先生も施設で話された研修に参加したが、話がとてもよかった。

【医療と福祉との連携の研修】

・今後も引き続き開催してほしい。

・研修に参加していない医師との意見書で大変困ったことがある。今後も医師への理解への働きかけ

## 6. 閉会のあいさつ

一般社団法人 宮崎県介護支援専門員協会 日向・東臼杵ブロックネットワーク委員長  
櫻井 俊司より

○総会は少ない人数でも参加して頂ける方がいれば今後も続けていき、県協会に入りたいと思って頂けるような会作りを行っていきたい。